



～相手の気持ちになって～

最近、国際理解のために料理教室や映画や先生向けの研修を行いました。国際化についていろいろな人とお話しする機会があるのはとても良いことです。私の仕事の中で大切な部分です。

外国人に慣れるには少し時間がかかり、多くの誤解が生じます。誤解は小さなものから大きなものまでさまざまです。

第2次世界大戦中、日本軍は欧米の捕虜にゴボウを食べさせました。戦後、欧米の人たちはこのゴボウを食べさせたことは虐待だと言いました。日本人はゴボウは体に良い食べ物だと思っていた

ので、このような誤解は歴史の中では、たくさんあります。

「お箸を使えますか」という質問をよく受けます。私が外国人だから使えないと思われるようです。「会えて嬉しい」と言われると、私も嬉しいのですが、その後の言葉「だって英語の練習ができるから」と言われるとがっかりします。きっかけを作るために話しかけてくるのだと思いますが、結局、英語を話す人だったら誰でもいいのかなという感じがしました。日本人同士でも共通点がないと仲良くなれないと同様に、外国人というだけで友達になりたいというのは少しおかしいと思います。しかし、保育園の子たちは違いました。「どうして眼が水色なの」とか「髪の毛を染めているの」と不思議に思っていることを聞いて、日本語を話す私が日本人かどうかを考えていたようです。その後は、私と友達になりたいので「好きな色、食べ物、ゲームは何ですか」と聞かれて、とても楽しく、面白かったです。

国際化はそんなに難しいことではありません。要するに、大事なことは相手の立場に立つこと。自分が言われたらどんな気持ちになるか、少し考えてから話すと良いと思います。

蒲郡の人たちと出会うことはとても楽しいです。興味のある人は、ご遠慮なく国際交流協会のイベントに来てくださいね。

○今まで、買い物をする時に、商品のラベルなど気にしたこと
がなかったが、今回量目検査
をするにあたって、グラム数
を見ると同時に、ほかにいろ
いろ書いてある商品の成分・



購入商品を見直して、お得な買
い物、賢い消費者に！
参考：モニターの皆さんか
ら寄せられた感想や意見を紹
介します。ここで今一度、日頃の

○特売品を購入して少し得をし
たように思えたが、家庭で計
量すると必ずしも得をしたわ
けではないことが分かった。

○同じ商品でもメーカーによっ
て何個（何枚・何本）という
表示であったり、グラム表示
であったりいろいろなので、
どちらの商品がどれだけ得な
のか比較しにくい。

○自分がいかに買った買った買
い物（すなわち食生活）をして
いるかが分かり、大変良い勉
強になった。

○正確に商品が入っていると思
っていたが、実際にこれだけ
の商品に誤差があることが分
かり驚いた。風袋の重さが多
いことに始めて気がついた。

市では昨年11月に「商品量目
検査」を実施しました。
これは、生活モニターが購入
した商品の量目をハカリで検査
し、その結果や商品、消費生活
全体に関する意見等を報告して
いただくものです。

調査結果としては、正味量表
記商品（密封商品）の約21・5%
また面計量商品（はかり売り
商品）の約4.9%から量目の超過・
不足が見つかりました。

保存料・添加物にどんな物が
入っているかを見ることがで
き、勉強になった。

肉・魚などトレーを利用して
いるものが多く、風袋を引い
てないものはトレーの代金ま
で払っているような気がする。

できるだけトレーのリサイクル
を利用しているが、他の人
も省ゴミ化のためにトレーリ
サイクルを進めてほしいと感
じる。

市生活モニター商品量目検査結果から
少しの気配りでお得な買い物を！

商工労政課 66-11119